

救急隊活動にご理解とご協力をお願いします

市民の皆さまの安心と安全を守るため、救急隊は常に向上心をもって取り組んでいます。

いくつか、近年の救急活動についてご紹介いたします。

救急活動の電子化について



「電子タブレットの使用」



医療機関のリアルタイムな情報取得や現場情報の電子管理など、スムーズな活動を実現するため、救急隊はタブレット端末を使用した活動を実施しています。より良い救急活動実現のため、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

「救急車の到着」

119番通報で要請された場合、その場所に最も近く、かつ救急車が安全に停車できる場所に停車します。また、サイレンと赤色灯は緊急車両として法律で定められています。^{※1}救急車のサイレンが聞こえましたら、案内、誘導をお願いします。

複雑化する道路状況で救急車到着全国平均時間は10.3分となっています。

「現場でしていること」

体調が悪くなってしまった方や、けがをされた方が今どのような状況がしっかりと確認します。けがの止血処置はもちろん、血圧や脈を測ったり、心電図で心臓の動きを見たり、必要な方には点滴や^{※2}法律で定められた薬剤を投与する等、高度な処置も行います。

「病院の決定と搬送」

すぐに病院へ出発するイメージがあると思いますが、現場でしていること、にあるように、細やかな観察と高度な処置を行いながら、その時点で最も適切な救急医療提供が出来る病院を探しており、医療機関の状況によっては、決定までに時間がかかってしまう場合があります。